



Title	「薬物乱用」における大阪市の現状と健康福祉局の取り組み
Author(s)	山内, 幸織
Citation	大阪公衆衛生. 2010, 81, p. 6-7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83395
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「薬物乱用」における大阪市の現状と

健康福祉局の取り組み

大阪市健康福祉局健康推進部こころの健康センター

山内 幸織

平成 10 年、警視庁が第3次覚せい剤乱用期に突入したことの発表をうけ、大阪府では知事を本部長とし、関係各団体が構成される「大阪府麻薬覚せい剤等対策本部」を7月に立ち上げ、「大阪薬物乱用『ダメ。ゼッタイ。』5カ年戦略」を策定しました。大阪市では、対策本部の副本部長を副市長が務めるほか、対策本部のもと中毒者対策部会に健康福祉局、啓発対策部会に健康福祉局および教育委員会が参画し、薬物依存症者および家族の相談支援、市民および青少年への啓発等を進めてきました。

近年の覚せい剤の乱用の若年化に加え、昨今の大学生の大麻の乱用など、薬物乱用が一般市民のレベルにまで急速に広がっているという深刻な状況を踏まえ、「大阪府麻薬覚せい剤等対策本部」と連携して「大阪薬物乱用『ダメ。ゼッタイ。』5カ年戦略」を強力に推進するため、市域の薬物乱用の啓発活動を充実すると

ともに、薬物依存症者の相談支援体制強化の必要性を感じています。

そのような動きのなかで今回は、健康福祉局の取り組みとしてこころの健康センターにおける薬物関連問題事業と、各区の保健福祉センターにおける薬物依存症者に対する精神保健福祉活動について紹介させていただきます。

1 こころの健康センターでの取り組み

大阪市こころの健康センターでは、市民を対象に薬物関連問題講座を開催し、広く啓発に努めています。また、市内の高等学校に「薬物乱用防止」に向けた取り組み支援として講師派遣を呼び掛け、講演に出向いています。

さらに、各区保健福祉センターを窓口として、薬物依存等を専門とする精神科医師等による相談事業（薬物関連問題相談）を予約制で実施しています。

薬物関連問題講座の関連

	対象	回数	テーマ	講師	参加者
18 年度	高校生・教員	2	薬物乱用防止について	医師	840 人
			薬物乱用防止について	大阪ダルク職員	430 人
19 年度	一般市民	1	薬物依存症からの回復	医師	45 人
	高校生・教員	1	薬物乱用防止について	大阪ダルク職員	440 人
20 年度	一般市民	1	医療現場から見た薬物依存症	医師	38 人
	高校生・教員	3	薬物乱用防止について	医師	157 人
			薬物乱用防止について	大阪ダルク職員	398 人
			薬物乱用防止について	医師	122 人

平成 20 年度 薬物関連問題相談実施状況

相談件数 (人)

	男	女	計
実件数	14	7	21
延件数	23	9	32

相談者種別(重複あり) (人)

本人	16
家族	33
相談員	15
その他(保護司・支援施設職員)	4

対象者の内訳 (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
男	1	1	3	4	1	0	10
女	1	1	3	2	1	0	8
計	2	2	6	6	2	0	18

薬物の種別 (人)

覚せい剤	10
シンナー	4
その他(大麻・精神安定剤等)	7

薬物の種別 (人)

・家族の対応の仕方について	・薬物依存症はどんな病気か	・地域支援に向けての処遇検討
・本人への治療指導希望	・治療につなげるにはどうしたらいいか	・他精神疾患の治療勧奨
・退院後の処遇について	・断薬継続のための生活上の注意について	
・入院希望	・家族調整	

2 各区保健福祉センターでの取り組み

各区保健福祉センターでは精神保健福祉相談員を配置し、精神保健福祉相談や訪問指導活動を実施しています。特に週1回、精神科専門医師によるクリニックを実施するなかで、覚せい剤の慢性中毒者の相談や指導にも応じています。相談者としては、本人・家族のほか、

関係職員や警察等があります。

相談の内容は、診断・診療といった医療機関への紹介が主であり、それ以外では家族への働きかけや退院後の社会復帰を含めたアフターケア(自助グループの紹介)等となっています。

平成 20 年度 医師及び精神保健福祉相談員による相談・指導の延件数

	医師	精神保健福祉相談員			合計
	クリニック	相談	訪問指導	電話相談	
薬物	149	479	138	501	1267
覚せい剤	128	365	99	335	927